

(1)事業の概要等

事業番号	B2201-1
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	農業体験事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	平成20年度	～	令和6年度以降		担当課			農政課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	22	展開 方向	1	担当係			農業振興係		
	予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3	大	02	中	02
	根拠法令・個別計画	-					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	・農業の担い手の減少という課題に取り組むために、新たな農業の担い手の育成を目指す。 ・受講者の就農への意欲を高め、将来の新規就農に繋げる。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内在住の農業技術を習得したい方や新規就農を目指している方										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	●令和3年度の実施内容 農作業経験の無い市民等が将来的に新規就農者になることを目標に、農作業に触れる場所や機会を提供し、栽培方法や施肥、病虫害防除に関する基本的な知識を講義を通じて習得し、また、習得した知識を農場で実践し、土づくりから作物収穫までを体験することができるよう、農業体験講座を開催した。受講者のうち4名が栽培した野菜を小牧市農業祭品評会に出品することができた。 実施日：令和3年4月5日～令和4年3月14日(通年コース) 29回開催 実施場所：JA尾張中央小牧東部営農生活センター会議室及び実習農場(上末字東山地内) 参加者数：26人 ●直接経費(令和3年度) 農業体験事業委託料 1,694千円 需用費 42千円 ●直接経費(令和4年度) 農業体験事業委託料 1,701千円 需用費 100千円										
受益者負担	有	1講座(1人当り)10,480円 ※講座受講に必要な教材費分 受益者負担総額 209,600円(10,480円×20人)										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
			直接経費	一般財源	千円	2,745	1,531
決算額	財源	千円	—	—	—	—	
	国・県支出金	千円	—	—	—	—	
	その他	千円	175	144	178	273	
	計(A)	千円	2,920	1,675	1,827	1,736	
	対前年比	%	—	△ 42	9	△ 4	
人件費	予算額	千円	2,962	1,762	1,777	1,794	1,801
事業費	正規職員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	
	正規職員(平均賃金)	千円	749	749	749	749	
	その他職員	人	0	0	0	0	
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
	計(B)	千円	749	749	749	749	
事業費合計(C=A+B)	千円	3,669	2,424	2,576	2,485		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		22		展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1	農業体験事業への参加者数	人	↗	17	14	17	26		
2									
3									

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4	
指標	成果指標	生産した農作物を 出荷した受講者数	人	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	2	4	4	
	活動指標	農業体験事業 への参加者数	人	目標	20	20	20	20	20
				実績	17	14	17	26	
単 位 あ た り	受益者数(a)		人	17	14	17	26		
	受益者あたり事業費 (=C/a)		円	215,800	173,114	151,505	95,561		

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事業の達成状況と課題	令和3年度は、参加者数が大幅に増加し、目標を達成することができた。増加の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化により、家庭菜園への関心が高まったためと考えられる。また、受益者の増加により、受益者あたり事業費が大幅に減少した。			
事業の評価	今後の実施内容	今後も当事業を通じて農作業に触れる場所や機会を提供し、新規就農につなげていきたいことから、事業のボリュームを現状規模で維持し継続していく。			
事務事業評価による額	千円		節	細節	細々節